

令和4年度 森林・林業技術交流発表会にて「優秀賞」受賞

令和4年度森林・林業技術交流発表会が令和5年1月31日（火）～2月1日（水）の2日間にわたり秋田市の東北森林管理局にて開催されました。

令和2～3年度の2カ年間、コロナウイルス感染防止のためWEBで開催していましたが、今年度はコロナウイルス感染防止措置のもと、3年ぶりに集合形式で行われました。

当署からは森林技術部門において「岩手山カラマツの販売戦略」について発表しました。この課題については、年度当初から丸太生産から販売先までプロジェクトチームを組み、各自が所掌するセクションを的確に実行して作り上げたものです。

岩手山カラマツとは、八幡平市松尾地区東北リゾートパノラマスキー場のゲレンデ脇に生育する樹齢約120年の高齢級カラマツで、当署独自のブランド材として約110m³を供給しました。

明治時代に大苗で植栽された記録があり、この希少な高品質材を、いかに有効に供給するかを検討しました。

そのためには、需要動向を把握し、かつ材質（曲がり・腐れ・節）を見極めながら付加価値を高めるよう努めました。

販売先からは「木目が詰まっていて、梁や化粧板用途に適しており、目につく部位に使用する」との反応があり、需要が更に増えることと思います。

来年度以降も少量ではありますが、この「岩手山カラマツ」ブランドを継続して供給していきます。



発表の様子



当署で作成したラベル



供給されたカラマツ



4mの梁材として製材